

News Release

Kanadevia
Technology for people and planet

力ナデビア株式会社

2025年7月22日

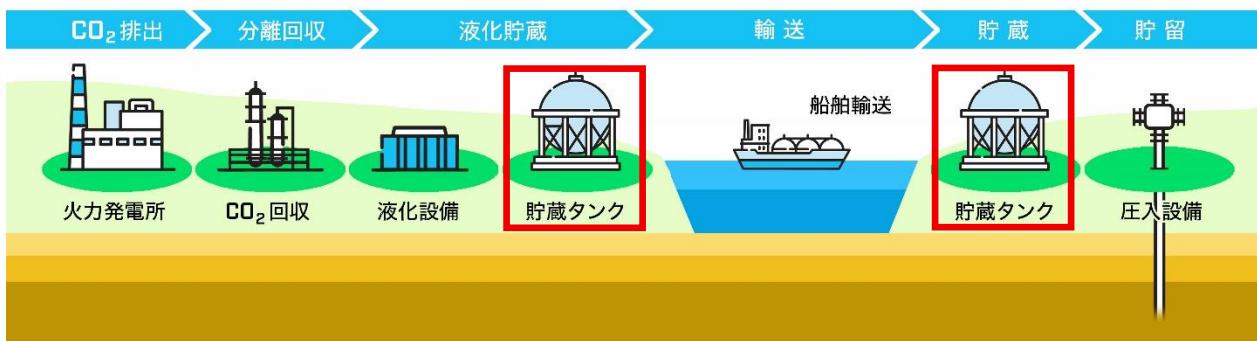
液化CO₂貯蔵用球形タンクのEPCに関する協業契約を台湾企業と締結 ～CCS・CCUSの普及促進に貢献～

カナデビア株式会社は、このほど、台湾のプロセス機器メーカーである良聯工業股份有限公司（高雄市、以下、良聯工業）と、CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：CO₂回収・貯留）やCCUS（Carbon Capture, Utilization and Strategy：CO₂回収・有効利用・貯留）に必要な液化CO₂貯蔵用球形タンクのEPC（設計・調達・建設）に関する協業契約を締結しました。

現在、日本を含む多くの国々が2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す「カーボンニュートラル2050」を目標に掲げており、その達成のためにはCCSやCCUSが重要な役割を担うと考えられています。日本においても独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が国内で複数のプロジェクトを「先進的CCS事業」として推進・支援しています。

しかし、CCS・CCUSの社会実装のためには液化したCO₂を貯蔵するためのタンクが必要であり、貯蔵タンクの製造能力が課題とされています。液化CO₂の貯蔵タンクには球形や円筒形のタイプがありますが、当社は従来からの技術で対応可能な円筒形タイプに加え、球形タンクの設計、建設に多くの実績を有する良聯工業とEPCに関して協業契約を締結することで、液化CO₂貯蔵用のタンク事業に積極的に取り組みます。

CCS [Carbon dioxide Capture and Storage]



【CCSの流れ】

当社がEPCを検討する液化CO₂貯蔵タンクは、1基あたり1,000~6,000トン規模を想定しています。日本政府は、2030年までに年間600~1,200万トンのCO₂貯留量を目指しており、タンクについても一定数の需要が見込まれます。

当社は、約100年にわたり圧力容器事業を手がけており、極厚の鋼板の曲げ加工や溶接、組立、据付に高度なノウハウを有しておりますが、「カーボンニュートラル2050」の達成に向け、CCS・CCUSや石炭・石油の代替となるアンモニアなどの新燃料向けに必要不可欠な貯蔵用タンクの製造や建設等を通じ、次世代技術の社会実装に貢献していきます。



【協業契約締結に関するセレモニーの様子】

なお、本件の概要は次のとおりです。

1. 契約先：良聯工業股份有限公司（台湾・高雄市）
2. 内容：当社 営業・プロジェクト管理等
良聯工業 設計・組立ノウハウの提供等
3. 期間：2025年7月～2027年7月

(終)